



パーソル 総合研究所

はたらくソーシャル・リスニング／24年下半期

調査結果

株式会社パーソル総合研究所 シンクタンク本部

目次

本報告書の目次

3P	導入／調査概要	導入
		調査概要
5P	24年下半年期の投稿増加率 上位ワード	増加率 上位5ワードとその解説
		増加率 上位6-10ワードとその解説
		増加率 上位11-20ワードとその解説
		増加率 上位ワード グラフ
9P	24年下半年期の投稿減少率 上位ワード	減少率 上位5ワードとその解説
		減少率 上位6-10ワードとその解説
11P	24年下半年期のピックアップ・ワード	①年収の壁撤廃／見直し関連の議論
		②人手不足倒産・労働力不足・労働力人口の話題
		③ジョブ型、賃上げ、春闘の話題
14P	総括：分析コメント	
15P	【参考】過去のソーシャル・リスニング分析	2024年度投稿増加率上位ワード(上位20ワード)
		2023年度投稿増加率上位ワード(上位20ワード)

目次

導入

近年、雇用を取り巻くトレンドは人事や経営だけではなく、一般就業者や生活者の耳目を集めるようになった。働き方改革、賃上げ、外国人雇用、リスクリングなど、メディアで大きく取り上げられるようなトピックは日々移り変わっている。人材マネジメントや組織運営を時代に適応させていくにあたり、そうした生活者全体の潮流やトレンドを理解することが重要になる。その一方で、一般的に行われる質問紙調査では、こうしたトレンドの移り変わりについて即時的・直接的に把握することが難しいという課題がある。

そこで、パーソル総合研究所では、2023年より、日々更新され続ける各種SNS・ブログ・掲示板・レビューサイト等のデータをリアルタイムに分析できるツールを用いて、個人の「生の声」を収集・分析する本プロジェクトを開始した。「はたらくソーシャル・リスニング」として、より現場や生活に近い位置から、労働市場全体の動向理解に資するものとして、定期的な分析と発信を行っていく。

目次

調査概要

調査名称	パーソル総合研究所「はたらくソーシャル・リスニング／24年下半年期」
調査内容	・インターネット上の投稿内容から、労働・組織に関わるトピック・トレンドの現状を理解する。 ・時系列での比較によって雇用関連のトレンドを動的に把握する。
調査対象	■データ収集 日本全国のSNS、ブログ、ニュース、掲示板、レビューサイトなど日本国内10万ドメインのデータソースより投稿データ(サンプリングデータ)を取得。「労働」「人材マネジメント」「組織」「働く」関連のワードが含まれる投稿について分析 ■データ取得先 X、YouTube、各種ブログ、掲示板、各種ニュースサイト、レビューサイトなど
調査方法	SNS分析ツール Quid Monitor(TDSE株式会社提供)を使用し、パーソル総合研究所分析
調査時期	2024年度下半期(10月1日－3月31日)と23年度同期の投稿データ比較
実施主体	株式会社パーソル総合研究所

引用について:本調査を引用いただく際は出所を明示してください。出所の記載例:パーソル総合研究所「はたらくソーシャル・リスニング／24年下半年期」

※報告書内の構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある

結果

分析結果

1

24年下半年期の投稿増加率上位ワード(上位5ワード)

2024年下半年期において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックは以下。

※24年下半年期のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)	解説
1位	103万円の壁	3,251,000	138,340	配偶者控除に関連する所得制限「103万円の壁」について、与野党の間で、見直しの議論が活性化。労働力不足が深刻化する中で、収入が一定額を超えないように働く時間を調整する、いわゆる就業調整を防ぐ狙いがある。
2位	通称使用	788,300	17,916	通称使用とは、法的な氏名(本名)とは異なる名前を、日常生活や社会活動において使用することを指す。選択的夫婦別氏制の導入を巡る問題が活発化し、それに関連付けて通称使用の取り扱いなどについても議論が盛り上がった。
3位	ドナー休暇	18,600	3,720	骨髄や末梢血幹細胞を提供する際に、従業員が特別休暇を取得できる制度。ドナーとして選ばれても、仕事の都合で提供を辞退するケースが多く、厚生労働省はドナー休暇の導入を推奨・啓発しており、企業における導入も一部で広がりを見せている。
4位	106万円の壁	309,150	3,595	「103万円の壁」と同様に一定の条件で社会保険(厚生年金・健康保険)に加入が必要になる「106万円の壁」についても、見直しの議論が起こっている。企業の負担を減らすための助成金制度なども検討されている。
5位	ソーハラ	10,100	2,020	「ソーシャルハラスメント」の略称で、SNSを通じた嫌がらせや不適切な行為を指す。上司が部下のSNS投稿を逐一チェックしてプライベートな活動に干渉したり、友達申請やフォローを強制するといった新たなハラスメントの形が話題に。

結果

分析結果

1

24年下半年の投稿増加率上位ワード(上位6-10ワード)

2024年下半年において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックは以下。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)	解説
6位	通勤手当	669,650	1,579	政府の税制調査会において、通勤手当の非課税措置の見直しが議題に上り、一時的に話題に。防衛費や少子化対策の財源確保の一環として、これまで非課税とされてきた通勤手当に課税する案が浮上。
7位	年収の壁	1,304,800	1,253	「103万円の壁」「106万円の壁」と同様。
8位	休業支援金	10,800	1,029	2025年4月より「出生後休業支援給付金」がスタート。共働き・共育てを推進するため、子の出生直後の一定期間に両親ともに14日以上の子育て休業を取得した場合に、最大28日間分の給付金が支給される。
9位	スモハラ	10,250	976	「スモークハラスメント」の略称で、主に職場において、喫煙者が非喫煙者に対して喫煙を強要したり、たばこの煙にさらすなどの嫌がらせ行為を指す。喫煙者が非喫煙者からの圧力や配慮要求に対して感じるハラスメントを「逆スモハラ」と呼ぶ動きが話題に。
10位	ガラスの天井	123,750	831	能力や実績にかかわらず、性別や人種などを理由に昇進やキャリアアップが阻まれる見えない障壁を指す。

1

24年下半年の投稿増加率上位ワード(上位11-20位)

2024年下半年において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックは以下。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)	順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)
11位	ポジティブ・ アクション	12,150	810	16位	マイクロ・ マネジメント	32,050	398
12位	オワハラ	12,050	753	17位	人事管理	14,000	384
13位	ゲーミフィケーション	36,400	495	18位	人手不足倒産	74,650	383
14位	スポットワーク	16,500	423	19位	スキマバイト	111,350	381
15位	厚生年金	1,587,000	414	20位	インセンティブ	603,500	380

結果

分析結果

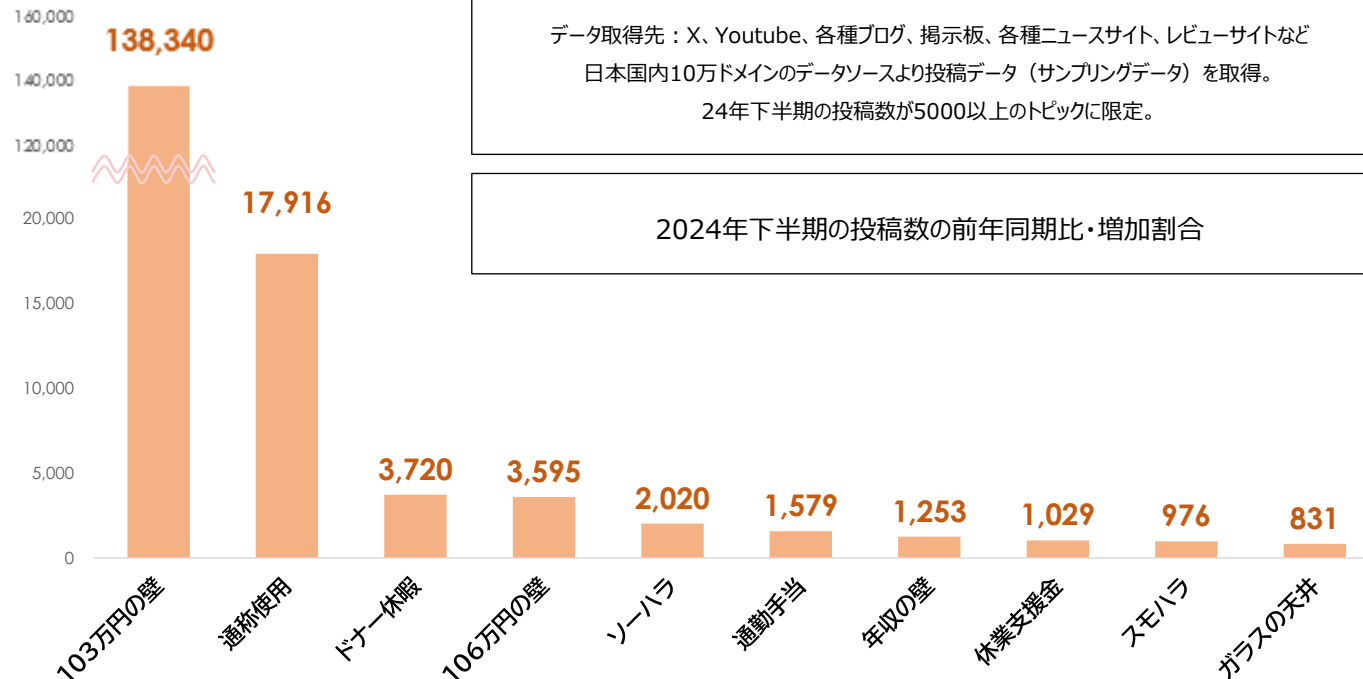
1

24年下半年の投稿増加率上位ワード 10位までのグラフ

2024年下半年において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックをグラフ化した。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数：該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

2024年下半年 増加率上位ワード（増加率・%）



結果

分析結果

2

24年下半年の投稿減少率上位ワード(上位5ワード)

2024年下半年において、前年同期からの投稿減少率が高かったトピックは以下。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)
1位	内定取り消し	13,000	-76.9
2位	バイトテロ	29,800	-73.7
3位	小1の壁	15,200	-73.4
4位	SOGI	13,000	-72.8
5位	2024年問題	64,900	-71.7

✓ 新卒売り手市場の継続もあり、企業からの内定取り消しは事案としても話題にはならず、大きくメンション数を下げた。

✓ 2024年問題、バイトテロのような、突発的なイベントに引きずられたものはダウントレンドとして急速に話題にならなくなる。

結果

分析結果

2

24年下半年の投稿減少率上位ワード(上位6－10ワード)

2024年下半年において、前年同期からの投稿減少率が高かったトピックは以下。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)
6位	在宅勤務	539,600	-69.6
7位	内定辞退	36,550	-67.8
8位	合理的配慮	50,500	-66.6
9位	インボイス制度	434,000	-65.7
10位	ブルーマンデー	11,150	-64.5

✓ 出社回帰が進んだことで、在宅勤務は話題としても減少傾向。今後もどこまで下がるかが注目される。

✓障害者雇用促進法改正やインボイス制度など、制度の施行タイミングに伴って注目されるワードは、その後大きく下がる傾向にある。

結果

分析結果

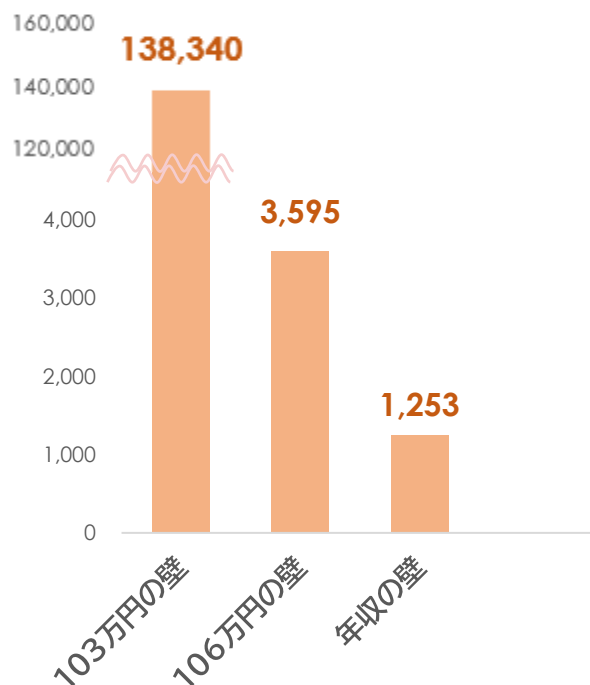
3

24年下半年のピックアップ・トレンド① 年収の壁撤廃／見直し関連の議論が急激に注目を集めた。

2024年下半年において特に目立ったトピックについてピックアップした。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数：該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

2024年下半年 投稿増加率(%)



- ✓ 特にパートやアルバイトなどの短時間労働者において、一定の年収を超えると社会保険料や所得税負担が発生して手取りが減る「年収の壁」の見直しの議論が進んだ。「103万円の壁」「106万円の壁」などの関連ワードが爆発的に話題を集めた。
- ✓ 物価高や労働力不足を背景に、順次、年収額の見直しが進んでおり、その解説や具体的金額、時期などについて今後も引き続き話題を集めそう。

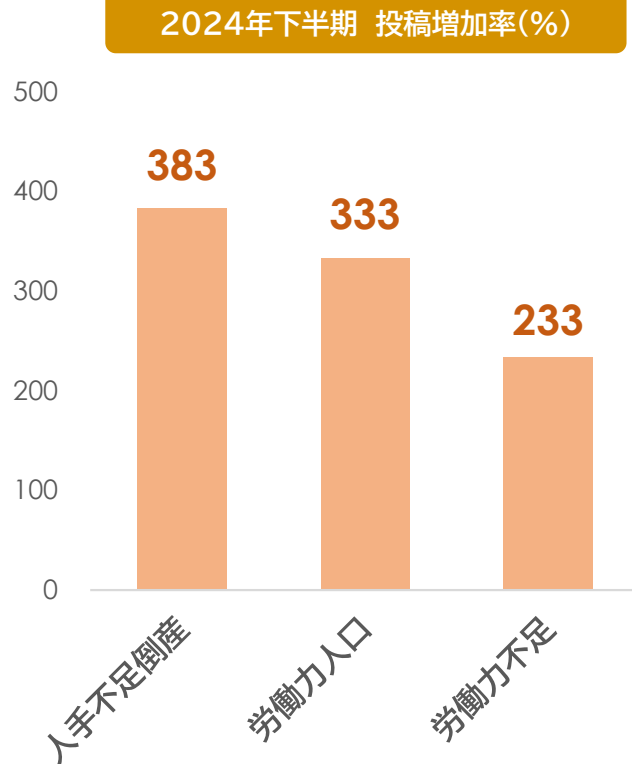
結果

分析結果

3

24年下半年のピックアップ・トレンド② 人手不足倒産・労働力不足・労働力人口の話題が増加。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数：該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。



- ✓ 少子高齢化やインバウンド需要の復活から、「労働力不足」への懸念はますます広がってきている。24年度は各研究機関から将来的な「労働力人口」に関連する推計も出され、話題を呼んだ。
- ✓ 特に「人手不足倒産」は、年々増加しており、2024年度の「人手不足」関連倒産は前年度の1.6倍に達し、過去最多の309件を記録(東京商工リサーチ調べ)し、深刻化が進む。

結果

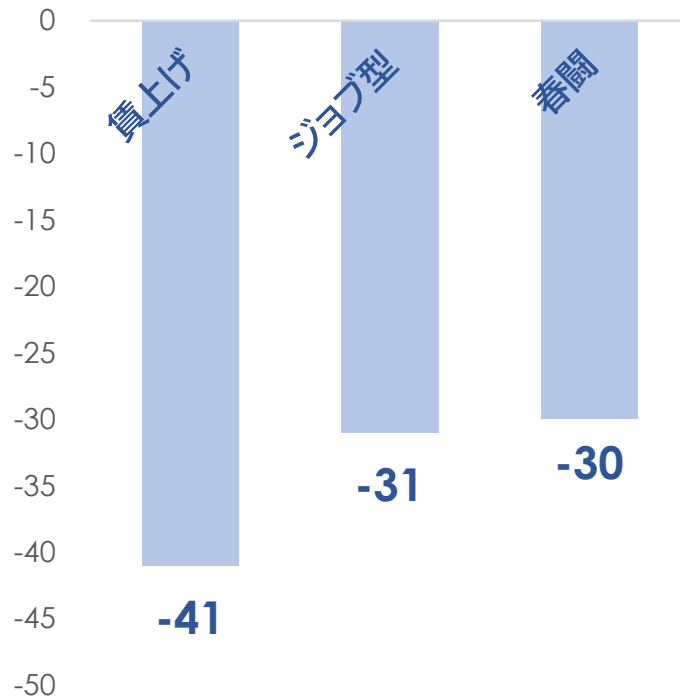
分析結果

3

24年下半年のピックアップ・トレンド③ ジョブ型、賃上げ、春闘の話題がやや減少

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数：該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

2024年下半年 投稿減少率(%)



- ✓ 「賃上げ」・「春闘」については、前年ほどの話題にはならず。
企業の動きとしての賃上げ機運は継続するも、議論の熱としては冷めてきている様子が見える。
- ✓ 同様に、「ジョブ型」についても一時期の話題は沈静化しつつある。その一方で職務給や職務等級といった人材マネジメントの浸透は中期的に進んできており、世間の声と実態の乖離が見られるトピックである。

2024年度の下半期も、多様な労働関連のトピックが人々の間で注目を集めた。

目立ったのは、社会保険料や所得税負担について、与野党の間で金額見直しや撤廃の議論が活性化し、関連ワードは急激に話題を集めた。そもそもの制度の複雑さも手伝って、解説記事やコメントも大量に投稿された。労働力不足や物価高が進む中で、社会全体に大きく影響を与える制度変更であり、25年度も引き続き議論は活性化しそうだ。

前年度から連続して上昇してきたのは、「人手不足倒産」である。コロナ禍の各種補助からの反動や、建設・物流業界の労働時間制限が開始されたこと、その他人件費やコスト上昇により、倒産数が大きく増えてきている。成長分野への円滑な労働移動が叫ばれる中で、倒産した企業からの労働移動が実際にどう起こっていくかも実証的検証が望まれる。

「ジョブ型」や「賃上げ」、「春闘」については、前年ほどの話題にはならず、世間やメディアの熱としては冷めてきている様子がうかがえる。その一方で、企業の動きとしてはそれぞれ続行している事柄であり、トレンドとして消費せずにしっかりとした追跡が必要だ。



パーソル 総合研究所

[参考] 過去のソーシャル・リスニング分析結果

株式会社パーソル総合研究所 シンクタンク本部

[過去結果] 2024年度(上半期)の動向

2024年度上半期の投稿増加率上位ワード(上位10ワード)

2024年上半期(2024年4月1日～9月30日)において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックは以下。

※24年下半年のメンション数が5000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2023年 メンション数	2024年 メンション数	増減率 (%)	解説・関連する主な出来事
1	通称使用	6,200	61,950	999.2	自民党総裁選における選択的夫婦別氏制を巡る議論のなかで、職場などでの通称使用について多くの言及がなされ、ネットでの議論も盛り上がりを見せた。
2	スポットワーク	5,750	35,700	620.9	前年から今年にかけて、スポットワーク・スキマバイト市場が大きく伸長。大手プラットフォームの参入や上場など、事業者側の経営動向も大きな話題を呼んだ。
3	カスハラ／カスタマーハラスメント	101,150	580,150	573.6	顧客からの迷惑行為・過剰要求であるカスハラについて厚労省・自治体による条例・規制強化の流れが加速した。各機関の定量的な調査も進み、メディア報道が激増。世間の耳目も集まった年となった。
4	2025年の崖	1,000	5,150	515.0	経産省が2018年のDXレポートの中で、システムの老朽化や人材不足により2025年以降、最大12兆円／年(現在の約3倍)の経済損失が生じる可能性があるとした用語。2025年が来年に迫る中で言及が増加した。
5	人手不足倒産	11,750	55,450	471.9	人手不足倒産が過去最高ペースで増加。背景には、建設・物流の長時間労働を規制した「2024年問題」がある。
6	戦略人事	1,350	5,950	440.7	人的資本経営・人的資本開示の流れの中で、中長期の経営戦略と人事戦略の連動が各社で課題に。
7	ガラスの天井	12,150	46,700	384.4	米大統領選挙戦の中で、クリントン元長官がハリス副大統領に対してガラスの天井を破ることを期待。日本企業において進まない女性活躍推進の文脈でも言及が集まった。
8	ギグ・ワーカー	2,300	8,600	373.9	フードデリバリーや配車サービスの運転手など、プラットフォーム経由で仕事を請け負うギグ・ワーカーに対し、アメリカやEUで待遇改善の動きが活発化。日本でも厚労省が2024年度中に指針を出す見込み。
9	整理解雇	8,700	31,450	361.5	自民党総裁選で複数の候補者から解雇規制の緩和がアジェンダ化された。それにより、一時的に日本の解雇規制の在り方に対する議論が活発化。
10	非正規公務員	31,150	94,900	304.7	「会計年度任用職員」と呼ばれる非正規の公務員に対し、待遇の改善を求める動きが広がる。

参考

過去の実績結果

[過去結果] 2023年度(年間)の動向

2023年度投稿増加率上位ワード(上位20ワード)

2023年度(2023年4月1日～24年3月31日)において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピック上位。

※23年度のメンション数が10000以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

順位	ワード	2022年度 メンション数	2023年度 メンション数	増減率 (%)
1	ガラスの崖	1,000	23,850	2385.0
2	通勤手当	32,500	489,600	1506.5
3	2024年問題	57,600	473,250	821.6
4	ソーシャルスキル	9,350	45,100	482.4
5	在留資格	423,750	1,929,900	455.4
6	特定技能	119,300	540,550	453.1
7	扶養控除	754,000	3,104,150	411.7
8	オワハラ	3,400	13,400	394.1
9	人手不足倒産	8,800	31,800	361.4
10	定年後再雇用	3,300	11,850	359.1

順位	ワード	2022年度 メンション数	2023年度 メンション数	増減率 (%)
11	65歳定年制	3,100	10,300	332.3
12	高齢者雇用	3,450	10,950	317.4
13	インテグリティ	9,200	24,350	264.7
14	内部通報	31,800	78,800	247.8
15	業務請負	4,650	11,500	247.3
16	外国人労働者	410,350	1,000,950	243.9
17	偽装請負	18,450	43,500	235.8
18	年収の壁	88,350	207,000	234.3
19	3K労働	7,750	17,600	227.1
20	マイクロアグレッション	29,300	61,900	211.3